

かしの木モック (1972)

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

時間 24分

初公開日 1972/03/12

公開情報 東宝

【解説】

みよりのない木彫り職人のゼペットじいさんは、ある時、樫の流木から男の子の人形を作り出す。ゼペットの心優しさを認めた樫の木の妖精は、人形に生命を吹き込む。こうして、いたずらだが心優しい、樫の木モックが誕生した。1972年3月の「春休み 東宝チャンピオンまつり」のプログラムの1本として上映された作品。内容はTVアニメ『樫の木モック』の第1話「ぼくは悲しい木の人形」のブローアップ版で、上映時間は24分。ちなみに、チャンピオンまつりのポスターなどには『かしのきモック』のタイトルで記載されている（元のタイトルが子どもに難しい漢字を使っていることへの配慮か）。同時上映は実写映画『地球攻撃命令ゴジラ対ガイガン』と実写TV番組『帰ってきたウルトラマン』『ミラーマン』、それにTVアニメ『みなしごハッチ ママにだかれて』『天才バカボン』。なお新作である『ゴジラ対ガイガン』以外は、いずれもTV番組のブローアップ版になる。

【クレジット】

演出	九里一平
製作	吉田健二 前里元義
企画	吉田竜夫
原作	カルロ・コロディ Carlo Collodi 『ピノキオ』
脚本	鳥飼尽三
撮影	細野正
美術	多田喜久子
編集	谷口肇
音楽	越部信義
声の出演	丸山裕子 矢田稔